



階段状になった芝生の広場にハート形の花壇が置かれている＝尾道市西土堂町

ハートの花壇で愛を語って

尾道・千光寺公園「恋人の広場」に改装

尾道市の千光寺公園の一角にある「恋人の聖地広場」が31日、「恋人の広場」と名を変えてリニューアルオープンする。ハート形の花壇が置かれ、腰を下ろして愛を語らえるよう、芝生も張り替えて装いを一新した。

2009年、千光寺公園がNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）から「恋人の聖地」に選ばれた。これを受け、市が美術館西側の斜面（2千平方メートル）にハート形遊歩道を備えた階段状の芝の広場を整備し、「恋人の聖地広場」として開放した。

しかし、公園の西の端にあるため訪れる人が少なかった。このため、12年にカッブルに桜を植樹してもらうなど、広場のPRに努めてきた。

今回は地元企業の大信産業（同市山波町）が広場の半分ほどで芝を張り替え、

方際、小2平方メートル）を10基置き、年間を通じて芝桜など22種類の花が楽しめるようにした。整備費1千万円は、創業60周年事業として同社が負担した。

市観光課の担当者は「住吉の花火大会の時は絶好のビューポイントなので、ぜひ恋人と一緒に来て欲しい」と話している。31日午前11時からはお披露目会がある。先着100人にハート形の花を付けるケマンソウの苗を配る。（井石榮司）

スプリングラーを整備。ハート形の花壇（大3・25平方